

追跡

レポート

あの質問。その後は…？

その後、光ブロードバンドはどうなった？

長野村政2期目の目玉事業である光ブロードバンド整備。その基盤整備が完了してから、半年あまりが経過した。整備前後と今後の活用計画など、議会の動きと合わせてお伝えします。

H26年12月定例会

一般質問

桐原純男議員

来年7月開業予定の光ブロードバンド、加入見込みと村から助成は。

長陽総合調整課長

加入見込みは30%以上を想定している。村から50000円の加入補助を予定している。

H27年3月定例会

平成26年度の補正予算において、小学校のICT導入事業費を計上。

(デジタル教科書680万円、小学校の電子黒板493万円など)

H27年7月 基盤整備が完了

長年、村の懸案事項であった光ブロードバンドの基盤整備が完了した。これで、インターネットの高速化など期待できる。3カ年計画で4億3千万円の大型投資に見合う利活用が今後の課題である。

H28年1月14日議員研修



ICTの利活用について説明を受ける

議員全員参加で、基盤整備を請け負ったNTT西日本熊本支店での研修を行った。

ICTを活用した地域おこしの事例を学んだ。また実際の機器を使つての体験も理解が進んだ。

H28年3月定例会

一般質問

太田吉浩議員

ICTを活用した村づくり、その具体的な計画は。

企画観光課長

村内に無料Wi-Fiスポットを順次整備していく。27年度は5カ所。同時にインバウンド事業として、多言語化看板の整備も計画している。

健康推進課長

光回線を使い、公民館での介護予防も始めた。3月末から実証運行を開始する



小学校で利用される電子黒板用カメラ

※ICTとは、コンピューターやインターネット技術の総称で、主に公共サービス分野において使われる用語

今後の課題

基盤整備から半年が経過し、少しずつではあるが具体的な利活用が進んでいる。

ICTは多岐に应用が可能な技術である。少子高齢化・中山間地域の課題解決や暮らしの利便性向上に、今後も有効に活用していくことを議会からも提案を続けたい。

長野村長

ICTの効果は認めているが予算も必要になる。しっかりと優先順位を考えながら、整備を進めていきたい。



フリーWi-Fiスポットの案内